

第36回日本クラブユースサッカー 選手権U-15大会参加報告



2級審判 寺岡大輔

はじめに、全国各地で緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が実施される中、大会を開催すべくご尽力いただいた、すべてのの方々に感謝申し上げます。
本当にありがとうございました。

地域2級O-35育成審判員として8月15日(日)から
8月17日(火)まで北海道
帯広市内各会場で参加したご報告をさせていただきます。

第1回事前研修 8/3 20:00～21:30 ZOOM研修

挨拶

大会要項確認

競技規則の確認・・・ハンドについて

事務連絡

第2回事前研修 8/9 20:00～21:30 ZOOM研修

映像を用いてグループディスカッション

- ・ファウルの判断①



※ファウル後のアドバンテージを考える

- ・フリーキック①



※クイックリスタートを試みるも相手競技者が前に立ち妨害する

- ・負傷対応①



※空中戦での競り合い後、両者頭を抱えて転倒。その後の対応

- ・ファウルの判断②



※ファウル後のアドバンテージを考える

- ・フリーキック②



※ゴール前の攻防。守備側競技者が反則でドリブルを止める場面

- ・負傷対応②



※空中戦での競り合い後、攻撃側競技者が頭を抱えて転倒。
その後の対応

4人程度のグループでディスカッションし、それぞれグループで振り分けられた担当映像で(1)あなたの対応(2)そのための留意点を発表

前日全体ミーティング 8/14 20:00~21:30 ZOOM

挨拶
大会要項確認
事務連絡
大会第1日目割当発表

審判員に求めること

一緒によい試合を作っていく意識

大会役員の一人として大会成功のため全力を尽くす

テーマ

『サッカーの魅力を引き出すようなレフェリング』

◎ターゲット

- ・アドバンテージ
- ・フリーキックマネージメント
- ・負傷者への対応

第1日グループステージA【1】 帯広の森球技場A 10:00

FC多摩ジュニアユース 3 ($\begin{smallmatrix} 1 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{smallmatrix}$) 0 ベガルタ仙台ジュニアユース
関東6 東北3

公式記録 [m01.pdf \(jfa.jp\)](#)

R：寺岡大輔(関西) A1：緒方実央(日本) A2：森内真司(北海道) 4th：中島俊介(東海)
アセッサー：伊藤力喜雄氏

○良かった点

精力的に動き、スプリントも申し分ない。

ADVを出すタイミングがよい。

負傷者が出た時の笛で止めるタイミングが早かった。(映像有)

見ていてすがすがしい気分になれた。



※接触部位、タイミング、倒れ方を
考慮し、即座に判断した場面

●改善点

オフサイドフラッグを見落とし、ハーフウェーラインを越えてから気づき、プレーを止めたが、キャンセルしてプレーを続けさせるべきであった。

負傷者が出たとき、プレーを止めるのは早かったが、チームスタッフをもう少し早く入れるべきであった。

第1日グループステージE【9】 帯広の森球技場A 14:30

三菱養和SC巣鴨
ジュニアユース
関東4

4 ($\begin{smallmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 2 \end{smallmatrix}$) 2
公式記録 [m09.pdf \(jfa.jp\)](#)

SSSジュニアユース
北海道2

R：中島俊介(東海) A1：寺岡大輔(関西) A2：森内真司(北海道) 4th：松尾久美子(日本)
アセッサー：伊藤力喜雄氏

○良かった点

2試合目であるがスピードも落ちることはなかった。

●改善点

特に無し。

第2日グループステージH【40】 幕別町運動公園陸上競技場 10:00

三菱養和SC調布
ジュニアユース
関東14

0 ($\begin{smallmatrix} 0 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{smallmatrix}$) 1
公式記録 [m40.pdf \(jfa.jp\)](#)

シーガル広島ジュニアユース
中国3

R：寺岡大輔(関西) A1：兼松春奈(日本) A2：守内魁(北海道) 4th：青木崇文(関西)
アセッサー：江角直樹氏

○良かった点

次の争点へ備えた動き出しが早い。
ファウルの見極めを慎重にしているのが伺える。
選手とのコミュニケーション能力に長けている。
試合最後のハンドの見極めがよかった。(映像画像有)
⇒腕の位置は妥当であると判断

●改善点

特に無し。



※見える位置と距離、自信を持って
判定している場面

第2日グループステージL【48】 幕別町運動公園陸上競技場 14:30

ジュビロ磐田U-15
東海4

0 $\left(\begin{smallmatrix} 0 & - & 3 \\ 0 & - & 4 \end{smallmatrix} \right)$ 7

東京ヴェルディジュニアユース
関東9

公式記録 [m48.pdf \(jfa.jp\)](#)

R：青木崇文(関西) A1：寺岡大輔(日本) A2：宇野雅輝(北海道) 4th：曾根未宇(日本)
アセッサー：江角直樹氏

◎江角氏から青木氏と私が対照的なレフェリングをするので日頃心掛けていることを確認する。
今後も若手の見本となるようなレフェリング、普段の立ち居振る舞いをお願いしますとの
ご意見をいただいた。

【青木氏】

選手とはあまりコミュニケーションはとらない。
判定の笛を早くすることで選手が言葉を発せない
ように意識している。

【寺岡】

選手とよくコミュニケーションをとる。
選手の言動、プレースタイルを観察しながら
話す言葉を選んでいる。

第3日グループステージG【61】音更町サッカー場 10:00

横浜FCジュニアユース 2 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0 ブレイズ熊本
関東1 九州3

公式記録 [m61.pdf \(jfa.jp\)](#)

R：梶山芙紗子(日本) A1：小久保直(関東) A2：椿直人(北海道) 4th：寺岡大輔(関西)
アセッサー：泉弘紀氏

- ◎ 泉氏からRが白黒はっきりつけるタイプであるが、そのRが悩んだ表情を見せるとベンチは疑いだす。選手、ベンチに対して笑顔を見せる余裕を持つ。
例えば、タッチジャッジが難しいときは、笛、ジェスチャーを使い、注目を集める。

第3日グループステージK 【69】 音更サッカー場A 14:30

ソレッソ熊本
九州1

1 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 0

カターレ富山U-15
北信越1

公式記録 [m69.pdf \(jfa.jp\)](#)

R：寺岡大輔(関西) A1：小久保直(関東) A2：小川泰宏(北海道) 4th：松尾久美子(日本)
アセッサー：江角直樹氏

○良かった点

よく走る。

Rがゲームを掌握しているので全員を味方につけている。

みんな気持ちよく帰れたのではないかな。

ファウルの後のベンチコントロールが意外であった。

⇒選手に注意すると思ったが、ベンチに行くとは考えつかなかった。(映像有)

得点直前PA内のホールディングをよく我慢して得点につなげた。(映像有)



●改善点

覗き込む姿勢をなくす。

潜り込みなのかジャンピングアットなのかの見極め精度を上げる。

大会を振り返って

この度は、初めて他府県開催の全国大会に審判員として参加させていただきました。3日間で主審3試合・副審2試合・第4の審判員1試合の割当をいただきました。コロナ対策の観点から、顔を合わせての研修や他地域の審判員との交流はできませんでしたが、女子国際審判員、女子1級審判員、他地域派遣の2級審判員やアセッサーの方々との試合後の振り返りや試合の合間で意見交換ができ、皆様の日頃の審判活動における留意点やサッカー感など非常いい刺激を受けることができました。この3日間での貴重な経験を関西・兵庫県での審判活動に還元できるように、また若手審判員のよき見本となれるように日々精進してまいります。年齢を重ねてから2級昇格、カテゴリー昇格した私でも全国大会に派遣されることも40代の審判員に伝えていきたいと思います。最後になりましたが、大会開催にあたり、準備から関わっていただいたすべての人に深く、感謝いたします。本当にありがとうございました。